

2023 年度 白鷗大学大学院経営学研究科入試問題 英語

解答と配点

問題 I

問 I (25 点)

伝統的にマーケティング戦略はそれぞれの国ごとの市場の厳密に現地の問題とみなさせていた。顧客のニーズや好みの違い、競争、制度、法規制の違いは基本的に異なるマーケティングプログラムを必要とするように思える。国ごとのいかなる共通性もコインの裏表のように見える。

問 2 (10 点)

多国籍企業のマーケティングプログラムにおけるメリットとデメリット

問題 II

問 1 (15 点)

自分から話しましょうと言って近づいてきながらさっさと去っていったから。

問 2 (5 点×3=15 点)

1. モハメドがスミスに当地での滞在について質問する場面。

ジョンはその話をすぐに切り上げモハメドの職業について聞いている。アラブではビジネスの話をする前に人間関係を構築することが求められる。

2. スミスがスズキの名刺を受け取ってすぐにしまってしまった場面。日本では名刺をじっくり見て相手の会社、肩書を確認することが大事であるが、スミスは最初に自分の名刺を渡さずにスズキの感情を損なった。

3. スズキがスミスに確かな会社から来たのかと質問したのに対し、スミスは社内での地位と担当を答えたこと。米国は個人の業績と競争を重視するが、日本は集団が個人以上に価値を置くので、まず会社のことが問われる。

問題 III

問 1 (20 点)

交渉成功のカギは、譲歩と引き換えに何か価値のあるものを得なければならないということに関係者全員が自覚することである。

問 2 (15 点)

スポーツは一方のチームが勝てばもう一方のチームは負けることになるが、交渉は両当事者が買って終わるという可能性がある。